

平成 29 年度の愛知県の主な結核対策事業

事業名	目的	実施状況
結核治療成功促進事業	患者管理の評価の指標であるコホート分析を適切に実施するとともに、日本版DOTSを推進し患者の治療成績向上を図る。	<p>1 研修（県主催） 3回開催</p> <p>(1) 結核研修所保健看護学科コース伝達研修会 平成 29 年 6 月 14 日開催 新任期の愛知県保健所保健師を対象に開催</p> <p>(2) 結核対策研修会 平成 30 年 1 月 25 日開催予定 「結核の現状と課題ー結核対策の最新情報ー」 講師 公益財団法人結核予防会 結核研究所 対策支援部 部長 太田 正樹 氏</p> <p>(3) 結核菌分子疫学的調査（VNT R 検査）研修会 平成 29 年 10 月 30 日開催 「結核分子疫学解析の基礎と結核対策への活用 ～結核分子疫学調査の手引きから～」 講師 結核研究所 抗酸菌部 副部長 瀧井 猛将様</p> <p>2 コホート検討会（全保健所）</p> <p>3 各医療機関との結核服薬支援連絡会</p> <p>4 看護職連絡会議 平成 29 年 6 月 6 日開催 結核病床を有する医療機関の師長（リーダー看護師）同士の情報交換をする場としている。 年 1 回開催</p>
結核研究所研修会派遣	結核予防に従事している技術者に対して結核対策に必要な知識と技術の習得および新しい施策の周知を図る。	<p>1 結核予防技術者地区別講習会 開催地 富山県 3名</p> <p>2 保健所職員派遣 保健師・看護師等基礎実践コース 1名 保健師・対策推進コース 2名 短期集中コース 2名 結核対策総合コース 1名</p> <p>3 結核モデル病床看護師派遣 保健師・看護師等基礎実践コース 1名</p>

事業名	目的	実施状況
結核菌分子疫学調査事業	感染症法第 15 条の規定に基づく積極的疫学調査の一環として実施し、感染症及び感染経路等の究明を行う。	1 対象 結核菌陽性患者 2 方法 保健所は医療機関から検体を確保し、愛知県衛生研究所にて検査を実施する。 保健所は検査結果から遺伝子型が一致した事例について、感染源及び感染経路の究明を行う。 3 検査実施数 平成 28 年 10 月～3 月 151 件 平成 29 年 4 月～11 月 297 件 ※平成 28 年 10 月より検査開始。
予防接種後健康状況調査	有効かつより安全な予防接種の実施に資することを目的とし、BCG 接種の針痕数などの調査を行い予防接種の研究の一助とする。	BCG 接種後にアンケート調査実施(大府市) 配布数 200 人
結核読影相談	結核の診断を迅速に行い患者発見の遅れを解消するとともに読影技術の向上を図る。	県内 5 感染症診査協議会で実施
医師講習会	社団法人愛知県医師会に委託し、医師を対象とした結核に関する講演会を開催する。	1 開催回数 延べ 4 回開催予定 2 内訳 (1) 全域 平成 29 年 10 月 14 日開催 「本邦における肺抗酸菌症診療の話題と課題」 講師 複十字病院 臨床医学研究科科長 兼 呼吸器センター医長 森本 耕三 (2) 各地区医師会 3 回 名古屋市、尾張北部、西三河北部